

# 週間漁海況情報—第8号

平成28年3月1日

内容は水産研究課ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suisan/> で公開され、原則として毎週火曜日夜間に更新します。

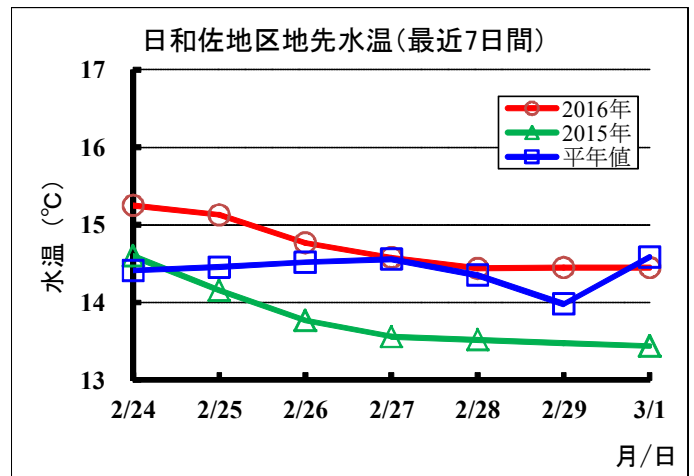
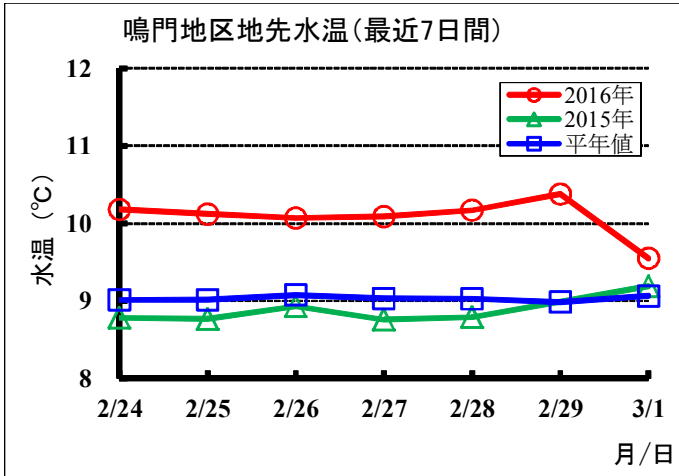
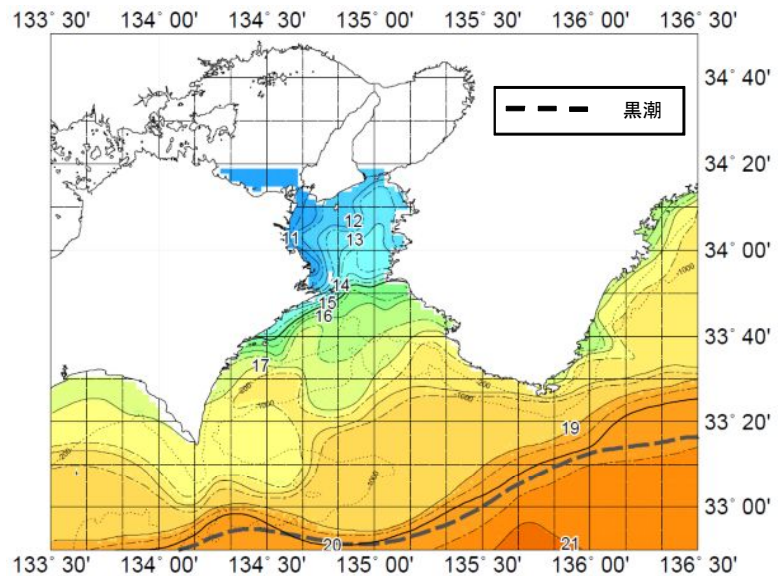
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H28.3.1）を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は20℃台である。徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で9～10℃台、紀伊水道で10～13℃台、海部沿岸では13～16℃台である。紀伊水道外域は、17～18℃台の暖水域に広く覆われ、中央部に16℃台の内海系水が南下している。



地先水温：最近7日間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の9.6～10.4℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の14.4～15.3℃、牟岐地区は「平年並み」～「高め」の14.3～15.8℃で推移した。

### 水温偏差の目安

平年並：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上  
\*平年値 鳴門地区：1981～2010年の平均値、日和佐地区：1982～2010年の平均値

## 2. 漁況の経過

**延縄**：海部沿岸でアカアマダイが0.2トン（1日1隻あたり12kg）、特大主体にマサバが0.2トン（同83kg）水揚げされた。

**建網**：海部沿岸で中主体にヒラメが0.2トン（同18kg）水揚げされた。

**小型定置網**：海部沿岸でカタクチイワシが0.4トン（同28kg）、大主体にマアジが0.6トン（同21kg）、メジナが0.5トン（同8kg）、アオリイカが0.3トン（同4kg）水揚げされた。

**大型定置網**：海部沿岸でカタクチイワシ主体にいわし類が0.5トン（同54kg）、特大主体にマアジが0.4トン（同47kg）、小主体にさば類が0.3トン（同36kg）、ハマチが0.3トン（同33kg）、ブリが0.2トン（同26kg）、カンパチが0.7トン（同75kg）、大主体にイシダイが0.3トン（同31kg）水揚げされた。

漁業種類別集計表（抜粋） 2016年2月22日～2016年2月28日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アカアマダイ	19	235	12	
		マサバ	3	249	83	特大主体
建網		ヒラメ	12	220	18	中主体
小型定置網		カタクチイワシ	13	361	28	
		マアジ	30	629	21	大主体
		メジナ	56	451	8	
		アオリイカ	65	264	4	
大型定置網		いわし類	9	490	54	カタクチイワシ主体
		マアジ	9	427	47	特大主体
		さば類	9	320	36	小主体
		ハマチ	9	297	33	
		ブリ	9	233	26	
		カンパチ	9	672	75	
		イシダイ	9	277	31	大主体

**昨年同時期の主な漁獲傾向**：昨年の2月23日～3月1日には、海部沿岸では、延縄で大主体にサバフグが0.3トン、大主体にキダイが0.5トン、建網でヒラメが0.4トン、小型定置網でマアジが0.8トン、カタクチイワシが0.6トン、ウルメイワシが0.2トン、かます類が0.3トン、キビナゴが0.9トン、大型定置網で特大主体にマアジが1.4トン、小主体にさば類が0.2トン、いわし類が0.9トン、中主体にスルメイカが0.2トン、特大主体にイサキが0.3トン、ブリが0.2トン、大・中主体にサワラが0.3トン、紀伊水道では、パッチ網でイカナゴが23.8トン水揚げされた。

**週間予報**：黒潮は、室戸岬沖で「かなり離岸」～「やや離岸」、潮岬沖において「接岸」～「やや離岸」で推移する見込み。地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の9～10℃台、日和佐地先で「平年並み」～「やや高め」の14～15℃台で推移する見込み。